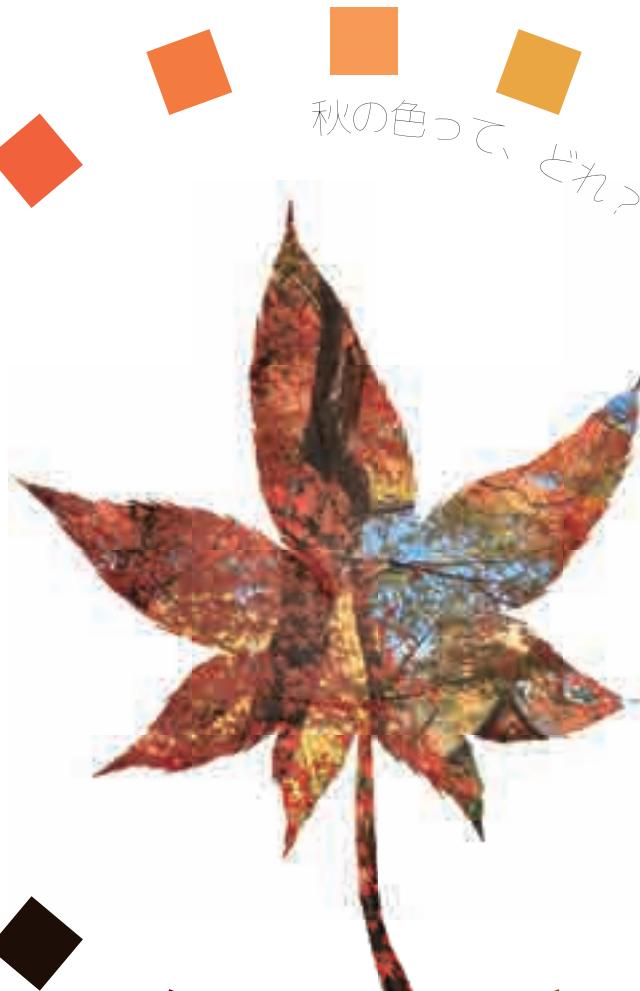


No.93



秋の色って、どれ?

イマデガワでイチバンの地域情報誌

イマ * イチ

2022年
10月号

CONTENTS



02	特集「秋の色を見つける」	12	出張版スポーツアトム
03	赤色 北野天満宮 / タルティーヌとコーヒーはんな	15	Campus Information
04	黄色 UCHU wagashi / cafe planet	17	同志社 EVE 卒業アルバム 秋の撮影会のお知らせ
05	茶色 ぱんだの散歩 / TORYBAZAR	18	ボランティア支援室からのお知らせ
06	緑色 Cafe 1001 / ラアノウミ	19	WOT・CT
07	橙色 Point Pour Point / EARTH CAFE	20	コラム「今出川と私」
08	秋色のお便り マップ & 店舗情報	21	編集後記
10	連載「これがキョウジュの生きる道」	21	読者プレゼント

秋の色を 見つける

食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋。

様々な可能性の広がる秋は、その時期にしか見られない

鮮やかな色で満ち溢れています。

今回はそんな秋の魅力を5つの色にわけてお届けします！

あなたは、何色の秋を見つける？

赤色 ⇒ p.3 へ

黄色 ⇒ p.4 へ

茶色 ⇒ p.5 へ

緑色 ⇒ p.6 へ

橙色 ⇒ p.7 へ



400年以上前に豊臣秀頼公によって造営された御本殿。
造営時から柱の1本、床板1枚すら変わらない当時の職人技に圧倒される。

1 北野天満宮

〒602-8386

京都市上京区馬喰町



無休



市バス「北野天満宮前」下車すぐ

歴史と伝統あふれる社



北野天満宮のもみじ苑は一〇月下旬から公開。三五〇本の紅葉が赤く様子は庄重。日没後にはライトアップも行われ、また違った雰囲気を楽しむことができる。

式に由来するものだそう。社の建築様式はイチヨウウが植えられており、赤と黄のコントラストも楽しむことができる。

「修繕する際には、建立時の神社建築様式を使いよう心がけている。社の裏で守られる主社。北野天満宮が御鎮座する前からこの地で最も長い歴史を持つ天神地祇が祀られている。最近塗り直し作業が行われたのは二〇年以前のこと。それは思えないほど鮮やかな赤色からは、日本が誇る伝統技術の高さがひしひしと伝わってきた。莊厳な御殿や紅葉など、見どころが沢山ある北野天満宮。秋ならではの色をしてみてても良いかも知れない。



赤色の秋を 見つける

正月の縁起物として知られる
大福梅（一袋700円）。境内
でとれた梅から手間暇かけて
つくられたもので、毎年12
月13日より授与される。



写真の手前からハニートマトのタル
ティース（500円）とカフェラテ
(550円)。瑞々しい表の赤いハニー
トマトが食欲をそそる。

2 タルティースと コーヒーはんな



こだわりの垣間見えるお洒落なキッチンを構えた
店内。穏やかな色使いによって暖かい雰囲気が溢
れている中で、美味しい食事が楽しめる。

道端に面したガラス張りの
扉を開けて、いざ店内へ！

〒602-0822
京都市上京区青龍町218 1F



京阪「出町柳」駅から徒歩5分

ぱんだ × おだんご = ぱんだんご!?

5 ぱんだの散歩

〒602-8373
京都市上京区下横町 202

月・火・水・日祝(不定休)

市バス「大将軍」から徒歩 3 分



「ぱんだ」と「おだんご」が融合した、かわいらしく見る人全てを惹してくれるオリジナルのイラストが特徴。



車の往来が激しい西大路通りから閑静な住宅街を東へ歩くこと3分。「ぱんだ」と「おだんご」の組み合わせをコンセプトにしたお店「ぱんだの散歩」が見えてくる。店主である平井さんの「ぱんだ好き」と「おだんご好き」から看板されたこのお店のおだんごは、まさに「みたらしんだん」と「ぱんだんご」の2種。商品が出来上がるまでの待ち時間も、おだんごが焼きたてで提供されるおだんごは、ほんのり香ばしくとても柔らかい。そして「ぱんだの散歩」は実店舗のみならず、不定期に「お散歩」(イベント出店)を市内各地で実施中。さらには通信販売も実施されているなどのことだ。

芸術の秋、読書の秋、紅葉の秋、映え要素もハッピーリだ。

「ぱんだの散歩」は実店舗のみならず、不定期に「お散歩」(イベント出店)を市内各地で実施中。さらには通信販売も実施されているなどのことだ。

この秋は、「TORYBAZAR TRAVELING STORE」を開催するなどの活動も行っているぞ。10月30日(日)には下鴨神社の祭り@鴨の森にて開催の「2022 左京ワンドー秋祭り」でマーケット出展予定。そちらにもぜひ足を運んでみてほしい。

みたらしんだんご
ぱんだんご 110円
170円

1本単位での注文可能。「ぱんだんご」の目や耳は手作業で付けられているんだとか。そのため「おだんご」ごとに「ぱんだ」に個性があるのも必見。

茶色の秋を見つける



白い壁に木製フレームの扉と窓。穏やかな空気を放つここは、生活雑貨を取り扱うお店「TORYBAZAR」。日本各地やアジアの国々から集めた台所道具、器、ガラス、古いものなどを季節に合わせてセレクトしている。中でも木製雑貨が印象的だ。そのあたかもみのある見た目もさることながら、店内に入りそっと息を吸い込めば、鼻腔にも優しく木特有の自然の香りが広がるのも魅力的。それに加え、すつきりとした白い壁とかわいらしい雑貨たちにより、ホッとする空間が生まれている。

お客様によって購入する商品はさまざまだが、タイの屋根に使われていた木を使った木製フレームは季節によつて商品は変化し、夏ではガラス製品、木製のもの、冬であれば陶器が多く揃えられている。海外から取り寄せた雑貨だけでなく、小沢賢一など国内で有名な作家の作品も取り扱わいでいるそうだ。(※ストアでの販売が中心。予約推奨。)

この秋は、「TORYBAZAR」の雑貨にまつわる、穏やかな時間を過ごしてみたい。いかがだろうか。

また、恵文社・乗寺店／生活館ミニギャラリーにて、展示販売である「TORYBAZAR TRAVELING STORE」を開催するなどの活動も行っているぞ。10月30日(日)には下鴨神社の祭り@鴨の森にて開催の「2022 左京ワンドー秋祭り」でマーケット出展予定。そちらにもぜひ足を運んでみてほしい。

チークの木でつくられた楕円のレリーフトレー(小)—— 2750円



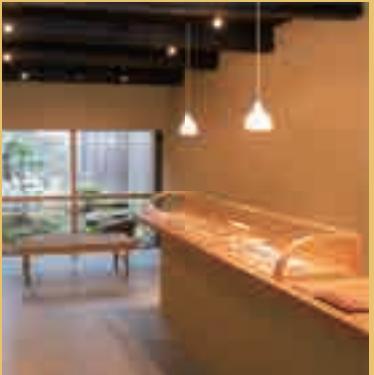
茶色と白で統一された店内。あたたかなぬくもりを感じる。

ワールドワイドな雑貨店 6 TORYBAZAR

〒602-0864
京都市上京区東三本木通丸太町上ル中之町 496

木・日(不定休)

京阪「神宮丸太町」駅より徒歩 5 分



和菓子も宇宙のようにまだ無限の可能性を秘めているという想いからつけられたお店の名前「UCHU wagashi」。

断面が美しいフルーツの羊羹

3 UCHU wagashi

〒602-0875
京都市上京区寺町通丸太町上ル信富町 307

火・水

京阪「神宮丸太町」駅から徒歩 7 分



フルーツの羊羹(1本) —— 1,730円

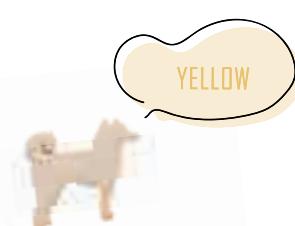
御菓子屋「UCHU wagashi」。京都駅の土産コーナーに並んでいる和菓子を眺めていた際に「もっと彩りがあつたらな」と思ったことがきっかけでお店を始めたという店主さん。グラフィックデザイナーとしての経験を生かし、和菓子を販売している。お茶はもちろん、コーヒー、現代的なデザインの新しい和菓子を販売している。

黄色いフルーツの羊羹をいたぐことにした。お茶はもちろん、コーヒー、やお酒など様々な飲み物に合う、新感覚の和菓子だそう。15cmほどの長さがあり、カットする箇所ごとに断面が異なるフルーツ菓の種類や形が異なつていて「次はどう断面になるのだろう」とワクワク感を覚える。どの断面も力ラフルで綺麗だ。口の中に、甘夏、桃ぶどう、3種類の濃厚な果実の香りが広がる。甘すぎず、さっぱりしていて美味しい。

お店の建物は、古い民家を改装し使えるものは残したり。それは、伝統的な文化を持つ和菓子を販売するあたり、古い物を残しつつ今に繋いでゆきたいという想いからだそう。伝統を大事につつ新しい可能性を追求するという想いが、和菓子だけでなく建物にも込められている素敵なお店だ。



レモンエイド —— 650円
レモンの果肉の黄色もさることながら、ミントの緑も目を引くレモンエイド。cafe planetのレモンエイドには足のついたグラスが使われている。

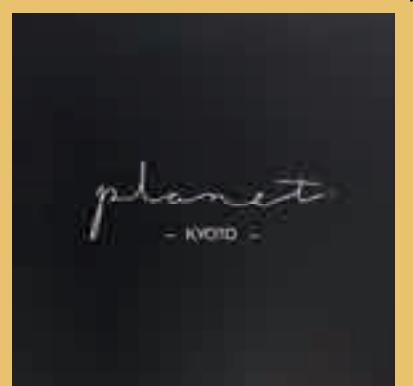


鴨川を見渡せる大きな窓に、白で統一された壁。天井も高く開放的な空間が心地よいお店「cafe planet」。さく注文したのは「レモンエイド」と「レモンエイド」。これは韓国発祥の飲み物で、レモン果汁を用いる「レモネード」と違つて「レモンの砂糖漬け」が入つていて「植物由来の食品を基本とした食事をしよう」という考え方をしているお店だそう。美味しいのレモンエイドはすっぱすぎることは全くなく、レモンの酸味とオーガニックシユガードのほんのりした甘さ、それから炭酸ののど越し。だから、酸味ののど越しのような暑さの夏が良くて、あのうだるような暑さの夏が少し恋しくなる味だった。

犬の形をしたクッキーはどこからか見えた目もさることながら、喰むと口いっぱいに広がる優しい味も印象的。「cafe planet」はプランツベースホールフレードで入つていて、植物由来の食品を基本とした食事をしよう」という考え方をしているお店だそう。美味しいのレモンエイドを飲んで、穏やかなドゆえの優しい味に、身も心も喜んでいるのを感じる。

に、健康的。プランツベースホールフレードのびのびできる店内で、程よい酸味のレモンエイドを飲んで、穏やかな秋を過ごすのはいかがだらうか。

大きな吹き抜けが開放感を与える店内。奥の鴨川に面したスペースでは、飼っている犬を同伴させることができるらしい。



黄色の秋を見つける



さあ、秋探しに出かけよう



秋色のお便り

4 cafe planet

〒602-0841
京都市上京区梶井町
447-5
定休日 水
平日 6:30 ~ 18:00
土日 11:00 ~ 18:00
(ラストオーダー 17:50)
京阪「出町柳」駅から
徒歩 5 分

3 UCHU wagashi

〒602-0875
京都市上京区寺町通
丸太町上ル信富町 307
定休日 火・水
10:00 ~ 17:00
京阪「神宮丸太町」駅から
徒歩 7 分

5 ぱんだの散歩

〒602-8373
京都市上京区下横町 202
定休日 月・火・水・日祝
(不定休)
12:00 ~ 17:00
市バス「大将軍」から
徒歩 3 分

6 TORYBAZAR

〒602-0864
京都市上京区東三本木通
丸太町上ル中之町 496
定休日 木・日
(前後する場合あり、
ホームページ記載)
12:00 ~ 17:00
(土曜は 18:00 まで)
京阪「神宮丸太町」駅から
徒歩 5 分

7 Cafe1001

〒602-8298
京都市上京区玉童町
288
不定休
12:00 ~ 17:00
(ラストオーダー 16:00)
市バス「千本中立売」
から徒歩 5 分

8 ラアノウミ

〒602-0024
京都市上京区上立売町
1-7 瑞祥ビル B1F
定休日 (年末年始は休業)
11:00 ~ 15:00、
17:00 ~ 21:30
(ラストオーダー 21:00)
地下鉄「今出川」駅から
徒歩 7 分



さあ、秋探しに出かけよう

秋色のお便り

京都御所

• 思いがこもった坦々麵のお店 •

8. ラアノウミ

自家製酵母のこだわりカフェ

2. タルティーヌとコーヒーはんな

1. 北野天満宮

〒602-8386
京都市上京区馬喰町
無休
楼門の開閉時間
5:00 ~ 18:00 (4月~9月)
5:30 ~ 17:30 (10月~3月)
市バス「北野天満宮前」
下車すぐ

• いたわりの自然由来! •

4. cafe planet

2. タルティーヌとコーヒーはんな

〒602-0822
京都市上京区青龍町 218 1階
定休日 火
8:30 ~ 16:30
※季節により変更あり
京阪「出町柳」駅から
徒歩 5 分

こだわりの
ヤレクト雑貨が
集まるお店

• 断面が美しいフルーツの羊羹 •

3. UCHU wagashi

9. Point Pour Point

10. EARTH CAFE = 同志社店 =

〒602-0031
京都市上京区裏築地町 93-16
定休日 日
11:00 ~ 15:00、
17:00 ~ 22:00
(ラストオーダー 21:30)
地下鉄「今出川」駅から徒歩 3 分

= 中立売店 =

〒602-8205
京都市上京区新白水丸町 462-57
プラネシア中立売 地下 1 階
不定休
11:00 ~ 15:00、
17:00 ~ 22:00
(ラストオーダー 21:30)
市バス「千本中立売」から
徒歩 6 分

「北の大地からなぜ同志社へ」

高校は北海道にある進学校に通っていたが、校風が合わなかったため恋愛やスポーツばかりしていた。当時からアントレプレナー（起業家の意）に憧れ、高校卒業後は起業したいと思っていた。母から「大学に入って4年経って卒業してもまだ起業したかったらしたらいい」と言われ、大学受験の道へ。

しかし、現役時代は志望校に落ちてしまい浪人生となる。ただ、模試の成績がそこそこに良く予備校に特待生として入校をしたため費用がかからず、その浮いた資金でバイクを購入して、1年間遊びに費やした。そのせいで再度志望校に落ちてしまい、関西で唯一受けている同志社大学商学部に入学した。

「京田辺でパリピ！？」

無事同志社に入学したものの、予備校時代と変わらず1年生の時は友達と遊び回っていた。また、1年生の2月に今の奥さんと付き合い始めたため、大学生としては非常に充実した毎日を送っていた。1年生の英語のクラスで出会った友達とは今でも毎年交流があるという。しかし2年生の夏休みが終わる頃、心境の変化が訪れた。

「このままじゃ大変なことになる」

2年生の夏休み明け、21歳を目前にした頃、唐突に「このままじゃあ大変なことになる」という謎の焦燥感に襲われる。「この時の焦燥感は、今考えれば仕組まれていたかのように心の底からきたものであつた」とキョウジュは語る。焦ったキョウジュはとりあえず当時秋にあったゼミ選考で、科学的管理法の権威、島教授のゼミを受験した。不合格覚悟の記念受験だったが、無事合格しこれをきっかけにキョウジュの研究者としての人生が始まる。

「商学部TOP層のゼミへ」

決して高いとは言えないGPAで奇跡的に大人気の島ゼミに入る。「拾われたからには頑張らなくてはという気持ちもあり、誰よりも勉強した」とキョウジュは語る。この島ゼミへの奇跡的な合格の経験から、今の太田原ゼミ選考においても本気度を見ることが重要視されている。このことが、1年生で遊び過ぎてしまったがゼミからは本気で頑張りたいという人などの心を動かし、太田原ゼミは、商学部のゼミの中で屈指の人気を誇っている。

「破門」

その後は島ゼミでゼミ長を任せられ、研究のため大学院への進学を考えたが、推薦入試にはGPAが僅かに足りず。一般受験のために必死に勉強したこの経験が、のちの博士課程入試に生きることになった。無事に進学できたキョウジュはどんどん知識をつけて天狗になってしまい、島教授を言い負かすなどして最終的には島ゼミから破門されてしまう。その後授業の中で岡本先生の研究テーマに感銘を受け、理論だけではなくより具体的な産業の姿を分析したいと考えるようになった。

「鴨川対岸へ」

博士号を取りたいと考え、同志社を離れ東大や京大などへ訪問を繰り返す。この訪問により東大などに多くの人脈を得ることができたが、修士から編入できるところは京大しかなく、京都大学博士課程に進む。その中で同期の中ではいち早く博士号を取得し、日本学術振興会の特別研究員にも内定したが、結婚していたこともあり当時新設された東邦学園大学（現・愛知東邦大学）の立ち上げメンバーとして就職。この新設大学の中で『どのように経営学に関心を向けるか』を重点に授業を行ったとキョウジュは振り返る。着任か

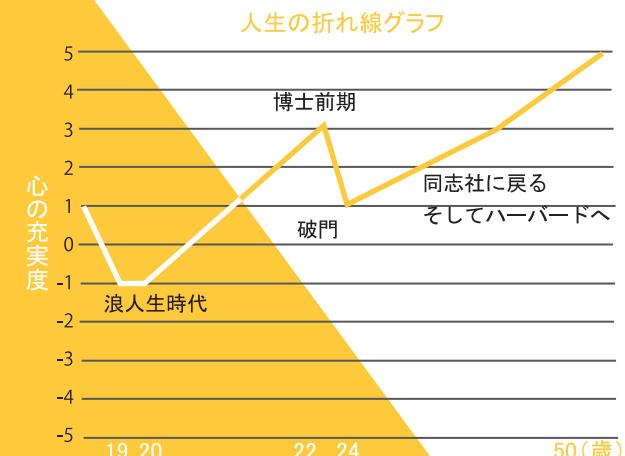
ら5年間はあっという間に過ぎ、次のステップアップを考えていたところに岡本先生から「同志社に戻ってこないか」との連絡がくる。

「何も教えなくても大丈夫だろう」

当時からキョウジュにはシンクタンクやコンサルティングファームなどいろいろなところから転職の打診がきており、魅力的な年俸を提示されていた。しかし「母校に戻るのが人の道だろう」と同志社への奉職をお願いすることに決め、急遽ゼミ選考に太田原ゼミが追加されることになった。この当時キョウジュは「破門されたにもかかわらず戻ってきたから裏で何を言われているかわからない」「同志社生は優秀だから何も教えなくても大丈夫」と少しネガティブな思考になっていた。そんな中、名古屋から向かった太田原ゼミの説明会で衝撃を受ける。

「熱血教師の道へ」

「説明会の部屋は人が溢れかえっていた、学生たちがすごい熱気で今か今かと私の到着を待っていた。この時の光景は、今でも忘れられない」とキョウジュは涙ながらに語る。キョウジュはそれからというものゼミに自分の心血を注ぎ込み、気づいたら热血教師になっていたそうだ。



「ひっくり返すから待つとけ」

同志社着任後、ハーバード大学へ2年間の在外研究に出かけた。そこでキョウジュは、ハーバード大学などで使われている戦略マネジメントの学説形成に影響したホンダ（本田技研工業）の事例の事実認識に大きな間違いがあることに気づいた。その間違いにより学会における通説や、ハーバード内で使われている教科書などの記述を改める必要があると思ったキョウジュは、ハーバードから日本へ戻る際に「ひっくり返すから待つとけ」と捨て台詞を吐いてきたという。その集大成と言える本を現在執筆中で、完成も近いとのこと。

「書くか飲むか」

「ゼミが一番好き、若いみんなと話しているのは楽しいし、可能性を感じる。みんなで飲み会などをすると腹を割って話すことができる。ゼミのみんなには小さくまとまるなどいつも話している」。最後にキョウジュに好きなことを聞いた際、キョウジュはそのように語った。研究に情熱を燃やし、学生と真っ直ぐ向き合うキョウジュ。今回の取材を通して、太田原ゼミのスローガンである「書くか飲むか」の真髄が垣間見えた。

太田原
おおたはら
じゅん
同志社大学
商学部商学科教授

それがキョウジュの生きる

2022



(右)学生時代の太田原教授 (左から4番目)

(左)ハーバード時代の太田原教授

相撲部



▲ 相手と組み合うデミデジャムツ(右)



体育会の情報誌「同志社スポーツアトム」がイマ＊イチに出張掲載。
体育会の活躍をイマ＊イチの読者にもお届けします。



▲ 立ち合いするデミデジャムツ

決勝戦へと進み、土俵上で金沢学院大の池田選手と向き合った。学生相撲界において関東の壁は高い。今大会でも、日体大、日大を筆頭に数多くの有力選手がエントリーしていた。しかし、関東の強敵たちを前にしても不安はなかつたという。「自分の相撲が取れれば勝てる」。これまでに積み上げてきた努力を信じて土俵に上った。

立合いで池田の強い当たりをもろに受け、後退するデミデジャムツ。2度の突っ張りによって一気に土俵際に攻め込まれ、ピンチを迎えた。しかし、土俵は割らずに耐え抜くと、逃れるように左へ回り込む。左上手をつかみ大逆転の投げを打った。

沸き上がる歓声。デミデジャムツは顔をあげると、小さくガツツポーズを見せた。普段はあまり感情を露わにしない彼が見せたその姿が、言い知れぬ喜びのすべてを物語っていた。わずか4秒の取り組み。瞬間に的かつ劇的な勝利によってつかんだ初優勝だった。

これまでも西日本3位など数々の好成績を残してきたデミデジャムツ。しかし、決

して慢心せず「もっと上を目指せた」とストレートに自己評価してきた。常に頂点だけを目指してきたからこそ、4年目に果たした初優勝は大きな意味を持つ。強い信念がもたらしたこの結果は、見る者の胸をうつた。

同志社勢の優勝は、実に28年ぶり。1994年に開催された第43回全国大学選抜相撲高知大会、田中英一以来の快挙だ。引退まで残り約4ヶ月。最前線で活躍し続ける彼の勇姿を最後まで見届けたい。



▲ 武道・シロッコブラダペア

馬術部

7月17日、三木ホースランドパーク(兵庫県)で第57回関西学生賞典障害馬術大会(以下、夏学)が行われた。同志社からは4名出場し、ルーキー泉が個人で優勝。主将武道も4位を獲得し、3年ぶりに夏学団体優勝を果たした。

同志社からは武道、中村、泉、奥野の4名が出場し、その中の上位3名の成績で団体成績が決まる。まず走行を始めたのは中村・B-I-Zザミニーラペア。春に行われた全関西学生馬術大会では思うような成績が残せず悔しい思いをしていた種目。しかし、試合前の待機馬場で落馬し、その影響か2反抗で失権となつた。

続く武道・シロッコブラダペア。「馬の歩幅

が届かないと思って前に乗つてしまつた」と

▲ 泉・クアドリフオリオペア

障害を一つ落とし、減点4。他に減点0がいなかつたため、ジャンプオフかと思われた。しかし、試合を動かしたのは13番目に走行した泉・クアドリフオリオペア。1年生ながら、安定した走行で減点0となり、トップへ躍り出した。同志社で最後に走行したのは奥野・アスラソニアペア。障害を一つ落とし減点4となるも、早いタイムで走行を終え、個人成績8位となつた。

全ての第一走行を終えた時点で武道の4位、奥野の8位が確定。あとは泉の結果次第だった。ジャンプオフには3人の選手が登場。「なるようになる、とりあえず楽しもう」と待機馬場で心を整えると、軽快な走りで個人優勝を果たし、夏学団体優勝にも貢献。ルーキーがチームをけん引した形となつた。

「今回のメンバーは夏学優勝を狙えると思っていた。最後の夏学を楽しんで終われたので良かった」(武道)。遠ざかっていた優勝を誰よりも強く願っていた武道はほつとした表情で今大会を振り返った。

王座を奪還した選手たちは個々に技を磨き、次の日本選手権団体優勝に狙いを定め、経験豊富な主将武道新戦力である泉を筆頭に、これからも馬術部の快進撃は止まらない。

B-I-Zザミニーラペア。春に行われた全関西学生馬術大会では思うような成績が残せず悔しい思いをしていた種目。しかし、試合前の待機馬場で落馬し、その影響か2反抗で失権となつた。

が届かないと思って前に乗つてしまつた」と

Campus Information



同志社 EVE ~EVE 実行委員会より~

同志社大学は、11月29日に147回目の創立記念日を迎えます。創立記念日を祝う創立記念行事が同志社EVEです。そのため、同志社EVEは学園祭ではなく、創立記念行事ということになります。毎年、11月1日から11月28日を「EVE期間」として、11月26日から28日を「EVE出店期間」として同志社EVEは開催されます。「EVE出店期間」では、教室出店やステージなどで、学生のパフォーマンスなどを見ることができます。今年度は新型コロナウィルスの影響で、観客席や教室出店への観客としての参加に制限を設けての開催となります。同志社EVEの理念である「学生の自主管理・自主運営」と「団体の活動の発露の場」を守り、同志社EVEが同志社大学生の活動を広く知っていただけるような機会になるように活動していきます。

今年度同志社EVEが、コロナ禍で満足な学生生活を送っていない学生にとって、少しでも希望となるような創立記念行事にしていきたいと考えています。より多くの方に同志社EVEを知っていただき、楽しんでいただければ幸いです。

今年度テーマ 「To Be Doshisha EVE ~ 翔べ 同志社 EVE ~」

同志社EVEに参加してくださるすべての方のおかげで、同志社EVEが完成します。学生がいてこそEVEに「なる」の「To Be」とEVEに関わった全学生が飛躍して欲しいという意味が込められています。多くの同志社学生にとって飛躍の機会になり、同志社EVEの歴史の中でも、コロナの影響下での新しい同志社EVEのあり方を考える飛躍の年にしたいと考えています。

同志社EVE実行委員会

公式HP : <https://doshisha-eve.com>

公式Instagram : doshisha_eve



▲ 攻める入江

同志社は序盤から積極的に攻め続ける。開始8分、深沢のショートで先制。その後12分には、堀がパスしたボールを主将池田がショートし2点目を獲得した。第2QはP.C(ペナルティコーナー)に持ち込むも、決定力に欠き得点にはつながらない。徐々に体力も切れていき、追加点を得ることなく2点リードで前半を折り返す。
迎えた後半は攻め切れない状況が続き、同志社の体力面での弱さが顕著に現れ始める。坂間もルーキーながら積極的に指示を出す場面が見られた。そして第4Q8分、中京大のリバースピットを止められず、1点を許す展開に。「集中力が切れていた」(大河原)。残り10秒で獲得したP.Cも生かせず試合は終了。後半に追加点を奪うことはできなかつたが、2-1で1部残留を決めた。

経験者が多く、技術力も高い中京大相手に、対して「チーム力でつかんだ勝利だった」として、"チーム力"でつかんだ勝利だった。

陸上ホッケー部男子

7月24日に甲南大学ホッケーランド(兵庫県)で2022年度関西学生ホッケー春季リーグ入れ替え戦が行われた。同志社は2部1位の中京大と対戦し、2-1で勝利。

1部残留を決めた。



▲ ボールを運ぶ矢野

「1部の中でやるからこそ成長できる部分があつて、今後のことを考えても1部に残れてすぐよかったです」(池田)。しかし「立ち上がりは良かつたが、前半の最後からは体力が切れ、コミュニケーションも取れなくなっていて、第1Qの良かつた部分を継続できなかつた」(矢野)と体力面での課題を残した。
悲願の1部昇格を果たし、新たな環境でスタートした春リーグ。メンバーが9人しかいないという試合出場さえ危うかつた状況から、9人の新入部員を迎えて1年生が得点に絡むほど部全体として大きな成長を遂げた春だった。またこの試合を持って代替わりし、チームは3年生主体へと移行。夏からは4年生がサポートにまわり、基礎的な部分を固めつつ、体力面での強化を図る。春リーグで勝ち星を挙げることができなかつた悔しさをバネに、秋リーグこそ1部で1勝をつかみ取る。



ボランティア支援室からのお知らせ



同志社大学ボランティア支援室とは？

幅広い分野・種類のボランティア情報が集まる、ボランティア活動の相談窓口です。ボランティアに関する相談をしたり、アドバイスを受けたりできます。ボランティア支援室が主催するボランティアプログラム・セミナーなどもあり、初めての人でも安心してボランティアを始めることが出来ます。現在は、感染対策を講じながら対面・オンラインの各種プログラムを企画中です。



1.ボランティアプログラムや講座を開催しています！

ボランティア支援室では、初めてボランティア活動をおこなう学生を対象に、ボランティアプログラムなどを開催しています。

HPをCheck!



2.メールマガジンに登録して最新情報をゲット！

オススメのボランティア情報やイベント情報を毎月15日に配信しています。ぜひメールマガジンに登録して、最新のボランティア情報をキャッチしてください！



メールマガジンの
ご登録はコチラ

＼ボランティア相談 受付中／

ボランティア支援室では、学生ボランティアの相談、また地域団体からのボランティア依頼を受け付けています！

*学生のみなさまへ

ボランティア支援室の窓口にて、現在募集中のボランティア一覧を見ることができます。また、コロナ禍でのボランティア活動について不安な方なども、まずはお気軽にお越しください。

*学生ボランティアの依頼を希望される団体さまへ

初めて依頼される場合は、まずは団体登録が必要となります。

詳しくはボランティア支援室HPをご覧いただくか、お電話にてお問い合わせください。



問い合わせ先

同志社大学ボランティア支援室

窓口開室時間 平日 9：00～17：00 (11:30～12:30は閉室)

- 今出川校地 寒梅館1階
- 京田辺校地 成心館1階

- [TEL]075-251-3236 [e-mail]ji-volun@mail.doshisha.ac.jp
- [TEL]0774-65-6777 [e-mail]jt-volun@mail.doshisha.ac.jp

＼秋の／

同志社大学 卒業アルバム 撮影会



画像提供：卒業アルバム委員会
※アルバムの画像はイメージです。実際のものとは異なる可能性がございます。

対象 4回生以上全員（大学院卒業予定者を含む）

撮影できる写真の種類

「団体集合写真」などが撮影可能
例：ゼミ、サークル、EVE 実などの実行委員会、学生寮の仲間、サマープログラムなどの団体

DATE/PLACE

京田辺キャンパス ハローホール

10.31(MON)-11.04(FRI)

※11/3 祝は開催

今出川キャンパス 明徳館1F ラウンジ

11.07(MON)-11.18(FRI)

※土日休は開催なし

10：30-18：00

※両キャンパスともに

撮影会では現物（昨年のアルバム）を見ることもできます！

Q: どんな企画内容になっているの？

掲載されるのは、学内で開催される撮影会での写真を中心。
中でもゼミやサークルなどの団体写真は普段なかなか全員集合できない
昨今、レアな一枚になること間違いなしです！
そのほかにも、自分で撮ったスマホの写真などを思い出スナップとして
掲載できたり、京都の町並みの写真、スポーツ系サークルの試合の写真、
文化系サークルのパフォーマンス中の写真、同志社生の「今」がつめこ
まれた充実の読みものページまで多彩な内容になっています。

お問い合わせ先

同志社大学卒業アルバム制作室

075-821-9439 duacduac@gmail.com

責任者：委員長 吉田（経・4）

各SNSのQRコード



卒アル委員会公式ブログ



卒アル委員会
Instagram

同志社生のための
インスタメディア Do-Ho!
Instagram

大学にも
「卒アル」が
あるの、
知ってた？

4回生（大学院卒業予定者を含む）を
対象とした「同志社大学卒業アルバム
撮影会」が開催されます。



「卒業アルバム」

と聞くと、小中高までのものという
イメージがある人が多いのではない
でしょうか？

実は、同志社大学にも「卒業アル
バム」が存在するんです！その歴史
は長く、1970年代から毎年出版さ
れているんだそう。今年版（2023
年3月卒業生対象）も出版が決定し
ており、学生団体である『同志社大
学卒業アルバム委員会』を中心とし
たメンバーが現在、鋭意作成中なん
です。

20年、30年と時を重ねるごとに
価値が高まる「一生モノ」の一冊。
4回生以上の方はぜひ11月の撮影
会に参加してみてはいかがでしょ
うか？

※撮影会は感染症予防対策を徹底して開催い
たします。

※感染症拡大等の状況次第で、開催を中止・
変更する可能性がございます。あらかじめ
ご了承ください。

今出川に通う学生たちの声を、
今月もお届けします。

「今出川と私」

「今出川駅？ 降りたことないなあ…」

文・社会学部一年生

今出川。そこは、わたしにとってあまり馴染みのない場所だった。京都で生まれ育ったが、京都の街といえど京都駅の近くや四条通りを思い浮かべてしまう。誤解を恐れずによれば、今出川は「御所と大学生のための街」という印象だった。しかし、毎日今出川に通うようになつて、わたしは勝手に抱いていたイメージを悔いることになる。多くの学生や車で賑わう大通りを少し曲がつて路地に入ると、さつきまでの

懐かしさ

文・文学部一年生

「慣れたものだなあ」と思う。故郷の愛媛から京都に移つてざつと半年が経つ。知った顔でスムーズに色々な場所を渡り歩いていると、少し寂しくなることがある。何故なら、愛媛に居た頃は愛媛という場所がすべてだったからだ。ここから出れば行く先々全ては未知の世界だ、どれだけ愛媛は田舎でも、戻つてくる場所はここなのだ、という思いで愛媛を出たのに、今では今出川周辺が当たり前の日常になつてしまつた。つまりは、この地に愛媛ほどの居心地の良さを覚えてしまったのだ。愛媛から持ち出したあれやこれやを既に結構捨ててしまったけれど、



きっとこの地で新たなものを得るだろうという予感がある。ただそれが少し寂しい気がするのだ。
市バスに乗つて当然のようにICOCAをカードリーダーにかざしながらも、私は固い表情で230円を握りしめていたあの頃のを探しているのだ。

僕と今出川の四季

文・政策学部二年生

喧騒は嘘のように、静かで落ち着いた町が顔を出す。高層ビルと大勢の人で溢れる京都駅近くの街とは違う。い、沢山の店が所狭しと肩を並べる四条の街とも違う。独特の穏やかな空気と安心感が、ここにはある。こんなに素敵な町に気が付かなかつたなんて、もったいない。ここに通い始めて半年。まだまだ始まつたばかりの大学生活の中で、はかり知らない今出川の町の魅力をたくさん探していきたい。



気付けば僕と今出川との関係は一年以上が経過し、今出川の四季は僕の五感を通り通り過ぎたことになる。

僕がはじめて今出川の季節と関わり合いを持ったのは、大学に咲く桜の木の下で日差しに顔をしかめながら記念写真を撮影した昨年の春だった。桜の花があおきた散り葉桜が穏やかな風に揺れる頃、本格的に今出川での一人暮らし始めた。茂りすぎた山の木々がじっと町を囲い、町全体から蝉の声が湧き上がる季節には、駆け足で春学期が終了した。堀川通りの木々が色づき、耳元を冷たい風が冬の匂いを運んで吹き抜け始める頃には今出川での生活にもなじみ、それから街路樹がすっかり葉を落とし、山を覆う雪の白さと冷たい空の青さが目に沁みる頃に今出川での生活一年目が終了した。

僕の大学生活は常に今出川の四季に彩られてきたし、今出川の四季を感じることが僕と今出川との関係を深めてくれるように感じている。

WHAT'S ON THURSDAYS!



開講期間中、寒梅館ハーディーホールでは、映画上映やコンサートなど様々なプログラムを開催します。

<https://student-support.doshisha.ac.jp/extra-program/wot.html>

・会場：寒梅館ハーディーホール（今出川校地 寒梅館地下1階）

・料金：一般有料

同志社大学学生・教職員は無料 *同志社内諸学校を含みます（要学生証・教職員証）

CLOVER THEATER



開講期間中、寒梅館クローバーホールでは、映画・音楽・アートなど先鋭的なプログラムを開催します。

<https://student-support.doshisha.ac.jp/extra-program/clover.html>

・会場：寒梅館クローバーホール（今出川校地 寒梅館地下1階）

・料金：一般有料

同志社大学学生・教職員は無料 *同志社内諸学校を含みます（要学生証・教職員証）

引き続き、課外プログラム WOT では一般の方を対象としたイベントの開催は中止いたします。
平素より寒梅館ホールへお越しいただくことを楽しみにされている皆様には申し訳ございませんが、ご理解を賜れましたら幸いです。

WOT/CT チャンネル

昨年度よりコロナ禍における新たな試みとして、映画など様々な文化を紹介するレクチャー等の配信企画「WOT/CT チャンネル」を立ち上げました。学生支援センター YouTube サイトにて配信中です。ぜひお楽しみください。

《日・EUフレンドシップウィーク》共催企画

#11 ダンス～EUにおけるコンテンポラリーダンスについて

講師：中島那奈子さん（ダンス研究、ダンスマラトゥルク）



《日・EUフレンドシップウィーク》共催企画

#12 エリック・サティと仲間たち～ひと、どうぶつ、もの～

講師：椎名亮輔教授（音楽学・同志社女子大学学芸学部音楽学科）



番組最新情報・
その他配信番組一覧はこちら！



*以後も新番組を配信予定です。どうぞご期待ください。

読者プレゼント



10月号の感想を送っていただいた
読者の皆様から抽選で3名様に、
「TORYBAZAR」様のオリジナル
エコバッグをプレゼントします！

メールアドレス imaichi@idoshisha@gmail.com に

- 1.お名前
- 2.ご住所・郵便番号
- 3.年齢（任意）
- 4.イマ*イチ10月号を入手された場所
- 5.イマ*イチ10月号で1番良かったページとその理由
- 6.イマ*イチ10月号全体を通してのご感想（任意）
を明記の上、お送りください。

締め切り：2022年10月31日まで

個人情報の二次使用はいたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

こちらのQRコードからも
簡単にご応募いただけます！



イマデガワでイチバンの地域情報誌

イマ*イチ

発行日：2022年10月1日

発 行：同志社大学 学生支援機構
今出川校地学生支援課
075-251-3270

編 集：同志社大学広告研究会 add's
印 刷：AINZ株式会社



• • • •

同志社大学広告研究会 add's イマ*イチ 10月号編集部

●特集

ライター

近藤萌々香（北野天満宮）
伊藤奈菜子（タルティーヌとコーヒーはんな）
大江裕子（UCHU wagashi）
伊藤奈菜子（cafe planet）
磯部遙文（ぱんだの散歩）
末岡かえで（TORYBAZAR & Cafe1001）
清家詩乃（ラアノウミ）
竹縄朱優（Point Pour Point & EARTH CAFE）

●連載

ライター & カメラマン
田中賢
デザイナー
山本智天

●コラム

ライター
清家詩乃（懐かしさ）
谷山茉優（今出川駅？降りたことないなあ…）
今井仁晶（僕と今出川の四季）

●その他

デザイナー
山本智天（表紙 & 裏表紙）
梶川陽世（目次）
吉田正行（出張版アトム & 同志社EVE）
雑喉碧羽（卒アル & WOT・CT & コラム）
大江裕子（編集後記 & 読者プレゼント）

●運営

吉田正行（編集長）
近藤萌々香（副編集長）
伊藤奈菜子（チーフライター）
柿本歩香（チーフデザイナー）
清水寛生（チーフカメラマン）

デザイナー

柿本歩香（導入・赤色の秋）
伊藤奈菜子（黄・茶色の秋）
田中梨沙（緑・橙色の秋）
和田明莉（秋色のお便り）

カメラマン

清水寛生（タルティーヌとコーヒーはんな &
UCHU wagashi & cafe planet &
TORYBAZAR & Cafe1001 &
Point Pour Point）
佐々木瑠偉（北野天満宮 & EARTH CAFE）
吉田正行（ぱんだの散歩）
田中賢（ラアノウミ）

Instagram



@ima_ichi2022

Twitter



@ima_ichi

Facebook



これまでのアート



IMA-ICHI2022



公式 TWITTER